



~学び・感動・愛~

relation

Ozora elementary school

6月号 2025

いじめについて考える日 いのちについて考える日

大阪市ではいじめ問題による深刻な重大事案の発生が後を絶たない状況を受け、いじめの積極的な認知及び早期発見・早期対応に取り組んでいます。本校におきましても、いじめ対策基本方針に沿いながら、日常の児童観察、年3回のいじめアンケート、毎日の「心の天気」から見える児童把握、等、教職員でいじめを許さない学校づくりに取り組んでいるところです。その取組の一つとして、全ての大阪市立小中学校・義務教育学校が同じ日にいじめ問題について考える「いじめについて考える日・いのちについて考える日」があります。この取組は平成29年度より5月の大型連休明けの月曜日を「いじめについて考える日」に設定し、大阪市の取組としてスタートしました。また、令和5年度より、いじめの未然防止を推進するとともに、「いのち」の大切さの学びを深めるため、「いじめについて考える日」に併せて、自分を大切にする心や他者への思いやりを育てる目的に「いのちについて考える日」が設定されました。今年度は5月12日(月)に「わたしのせいじゃないーせきにんについてー」という絵本の読み聞かせを通して、人権・いじめ問題について考えました。「本当にわたしのせいじゃないの?」「一体だれのせいなの?」の問い合わせについてみんなで考えた後、いじめの4層構造について、特に観衆(はやしたてたり、おもしろがったりしてみている)と傍観者(見てみないふりをする)に焦点を当てて説明を行い、最後に、再度「一体だれのせいなのか」考えました。「観衆」はいじめを積極的に是認し、「傍観者」はいじめを暗黙的に支持しいじめを促進する役割を担います。子どもたちが「加害者」「被害者」は勿論ですが、「観衆」にもならないように、4つの力をつかいながら「多様性を認め、人権を守る」心と態度を日常の生活や教育活動を通して養っていくことが大切です。今後も全ての子どもにとって安全で安心な学校づくりに取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

校長 清水 高志

かがいしゃ 加害者	ほうかんしゃ 傍観者（無関心型）	ほうかんしゃ じぶんほんいがた 傍観者（自分本位型）	ほうかんしゃ みみがた 傍観者（見て見ぬふり型）

みんながつくる みんなの学校 大空小



5月に行われた「救命救急講習」の様子です。6月16日にはプール開きし、水泳の学習がはじまります。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	全校朝会 委員会活動 体重測定 (3・4年)	体重測定 (1・2年) コンサート リハーサル	第20回創立記念日 5年自然体験 学習説明会 (16:00~多目的室)	学校に行くDAY 2025年度創立 記念コンサート		20周年 記念行事
8	9	10	11	12	13	14
	20周年 記念行事代休		Birthday メッセージ集会 全校学習(1h) クラブ活動	パトレンジャー MT	遠足 (1, 2年 万博) スナックゴルフ (6年)	南大阪 民族 交流会
15	16	17	18	19	20	21
	全校朝会 プール開き		見守るDAY 全校集会 ようこそ大空の 先生(5h)		社会見学 (6年ピース大阪) 出前授業 (4年パッカー車)	
22	23	24	25	26	27	28
	全校朝会	Hand in Hand	全校集会 地域別見守り帰宅	社会見学 (3年スーパー見学)		
29	30					
	全校朝会					